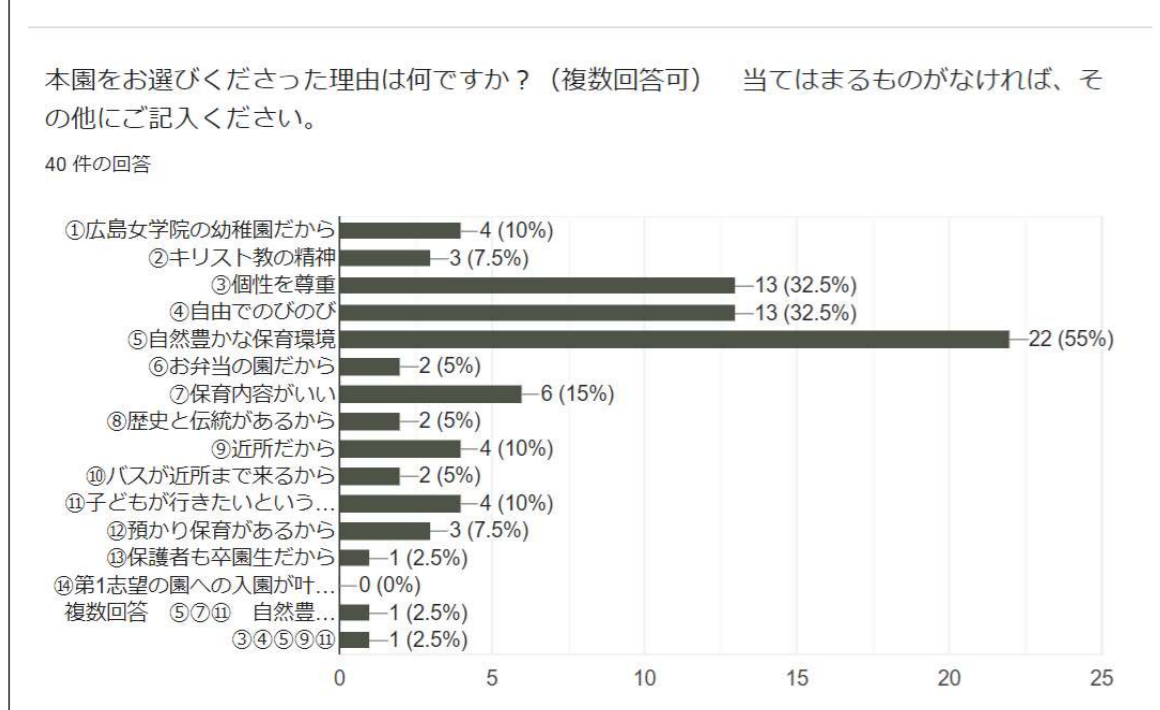


## 2021 年度事業報告（幼稚園）

| <p><b>1. 基本方針</b></p> <p>広島女学院ゲーンズ幼稚園は、次のことを目標とする。</p> <p>○子ども一人ひとりが、神様から愛されたかけがえのない存在であることを知り、受け入れられていることを感じる。 ○身近な自然や環境との関わりを通して、健康な心身を育み、豊かな情操を培う。</p> <p>○子どもが、お互いの個性の違いを認め合い、共に育ちあう。</p> <p>この目標を達成するために 2018－2022 年度の 5 か年で、（1）キリスト教保育の実践、（2）持続可能な幼稚園教育活動及び業務の計画、（3）開園 130 周年（2021 年）記念事業に取り組む。</p> <p>その 4 年次、2021 年度は ①キリスト教保育についての実践的共通理解 ②子ども・子育て支援事業の充実 ③職務の合理化・省力化の継続 ④施設設備計画 ⑤130 周年記念事業 に取り組むこととする。</p> |   |  |   |  |
|---|---|--|---|--|
| <p><b>2. 具体的アクション</b></p>   |   |  |   |  |
| 第 2 次中期計画<br>(行動計画)   | 2021 年度事業計画   | 目標達成のための手段等  | 具体的な目標（数値目標）  | 執行状況<br>及び課題と対応  |
| <p>(1) キリスト教保育の実践</p> <p>ア 全教職員による建学の精神の理解</p> <p>イ 新任研修計画と保育内容データベース活用</p>   | <p>(1) キリスト教保育についての実践的共通理解</p> <p>① 2020-2021 年度は、5 年ぶりに教職員の異動がなく、チームとしてのステップアップを刻むことができる。しかしながら、9 クラス担任 9 名のうち、2 年目 3 名、3 年目 3 名、4 年目 1 名、10 年以上 2 名という、経験の浅い保育者が多い体制であり、若い世代が本園のキリスト教保育の実践を担うことを踏まえ、若手保育者自身が神様に愛されている安心感を抱くことができることに重点を置きながら、子どもたち共にイエス様と出会うことができるようになる。</p> <p>② 保育者研修計画—第 4 段階<br/>「一人ひとり」と「みんな一緒に」の両輪の確立</p> | <p>(1) 保育実践</p> <p>① ・子どもを丸ごと受容し、共感的にかかわる<br/>・祈りを中心とした生活<br/>・自由遊びの環境構成</p> <p>② 保育マニュアル「保育のこころえ」の見直し。保育実践アーカイブス「保育の宝箱」の量的な充実を図る。</p> | <p>(1)</p> <p>①キリスト教保育を理解し、本園への入園を選択する家庭との出会い。園児 200 名の確保。</p> <p>②わらべうた、手遊び、体操、素話他、100 のコンテンツ登録を目指す。</p> | <p>(1)</p> <p>①対面での入園説明会、施設見学会が実施できない状況であったが、分散型の園庭開放ファミリーデイの場を「施設見学会」を兼ねる形にし、「入園説明会」については限定 YouTube 動画配信にて行い、必要な定員を満たす入園児との出会いが与えられた。</p> <p>2021 年 5 月 1 日時点 194 名<br/>2022 年 1 月 1 日時点 204 名</p> <p>② 2022 年 3 月 3 日現在、103 コンテンツ。</p> |
| <p>(2) 持続可能な幼稚園の実現</p> <p>ア 子育て支援諸活動と幼大連携の連動プロジェクトの推進</p>   | <p>(2) 安定した園運営とこれからの構想</p> <p>① 子ども・子育て支援事業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育時間終了後、安心して過ごせる環境づくりに段階的に取り組みの継続。</li> <li>・育児相談と居場所づくりの継続。</li> <li>・幼大連携による子育て支援を実現するための環境整備の継続。</li> <li>・不登校児童の居場所事業 放課後児童の遊び場提供の充実。</li> </ul>   | <p>(2) 経営の安定化</p> <p>① 子ども・子育て支援事業の充実</p> <p>既存施設の有効活用、牛田山荘 大学グラウンドを活用した子育て支援、不登校児童の居場所提供事業</p>  | <p>(2)</p> <p>① 園庭や保育室、ホールでの集会在過密にならないように、4 m<sup>2</sup>/保護者 1 名を守る。</p>                                 | <p>(2)</p> <p>①感染状況に合わせ 5 つのステージを設け、保護者とも共有し、各行事や保護者の活動（みぎわ会）を、段階的に実施することができた。休園措置 1 回、学級閉鎖措置 2 回を適時、教育委員会の指針に則り講じたが、園内でのクラスター発生を抑えることができた。</p>  |

|   |   |   |  |  |
|---|---|---|--|--|
| <p>イ 施設・設備計画</p> <p>ウ 業務体制の見直し・業務の効率化</p> <p>(3) 開園 130 周年記念事業の推進</p> | <p>②施設設備計画</p> <p>1) 空調の段階的更新 第4期</p> <p>2) 照明の LED 化、第3年次</p> <p>3) 年少トイレのリフォーム</p> <p>4) 玄関門扉の電子錠</p> <p>③職務の合理化・省力化</p> <p>・子育て支援事業の業務効率化計画第2年次</p> <p>・情報端末としてスマホ導入</p> <p>(3) 幼稚園開園 130 周年記念出版事業 (2020、21、22 年度)</p> <p>・『水辺の物語』の出版済</p> <p>・『つながるいのちと食-土づくり、園芸、果樹、おやつ作り、野外調理』編集</p> <p>・『森の幼稚園と根の育ち-ケヤキの木の物語』構想</p> | <p>② 施設設備整備計画</p> <p>・空調の更新計画4年次 (つき組、ほし組)</p> <p>・保護者室の照明の LED 化</p> <p>・手洗いスペースの拡張と安全性確保</p> <p>・玄関門のセキュリティアップ</p> <p>③ ホームページの更新と学年ブログ</p> <p>・スマホの段階的導入により、保育リアルタイムブログ</p> <p>・保育者間の情報共有ネットワーク構想</p> <p>(3) 出版</p> <p>第1弾『水辺の物語』に続く第2弾『つながるいのちと食-土づくり、園芸、果樹、おやつ作り、野外調理(仮称)』の編集、刊行</p> | <p>② 年少トイレでの事故・怪我発生件数0を目指す。</p> <p>③ 労働時間の短縮、2020 年度より、年間 50 時間の削減を目指す。</p> <p>(3)</p> <p>・2021 年 10 月の刊行を目指す。</p> | <p>②昨年度頻発した年少トイレでの事故・怪我は0件であった。年間を通した総括は、3月末日に実施。</p> <p>③ 労働時間の管理を法人の導入した勤怠管理システムで行う一方、保育関連業務の簡素化、効率化を目指して業務改善を実施。感染防止の観点からも、園児と保育者が一緒に食事をとらないこととし、保育時間中に保育者全員が休憩をとることが実現。指導案、保育日誌のペーパーレス化、教諭会ミーティングの分散と時間短縮、行事の見直しなど、業務の改善を行い、時間短縮を実現。</p> <p>(3)</p> <p>・2022 年 3 月に刊行した。</p> |
|---|---|---|--|--|



2021年度卒園児就学先一覧

| 区分  | 小学校名          | 入学者数  |    |
|-----|---------------|-------|----|
| 公立  | 東区            | 早稲田   | 15 |
|     |               | 牛田    | 25 |
|     |               | 尾長    | 4  |
|     |               | 温品    | 1  |
|     |               | 戸坂    | 1  |
|     |               | 牛田新町  | 1  |
|     | 中区            | 白島    | 2  |
|     |               | 袋町    | 1  |
|     |               | 千田    | 1  |
|     |               | 幟町    | 3  |
|     | 南区            | 荒神町   | 1  |
|     |               | 宇品    | 1  |
|     |               | 大河    | 1  |
|     |               | 段原    | 1  |
| 西区  | 三篠            | 1     |    |
|     | 長東西           | 1     |    |
|     | 原南            | 1     |    |
|     | 春日野           | 1     |    |
|     | 原             | 1     |    |
|     | 安芸郡           | 府中中央  | 1  |
| 国立  | 広島大学附属東雲小学校   | 1     |    |
| 私立  | 広島三育学院小学校     | 1     |    |
| 私立  | 安田小学校         | 1     |    |
|     | AIC 国際学院広島初等部 | 1     |    |
| 福岡  | 久留米市立         | 南     | 1  |
| 千葉  | 松戸市立          | 八ヶ崎第二 | 1  |
| 大阪  | 柏原市立          | 堅下    | 1  |
| 神奈川 | 川崎市立          | 片平    | 1  |
|     | 卒園総数          | 72    |    |

《できたこと》

- ・年長児の生活に見通しをもって、子どもたちと関わり過ごすことができた。
- ・子どもが毎日安心して幼稚園に登園できるように、朝一人ひとりを丁寧に受け止めるように努めた。
- ・子どもの気持ちがぶつかり合った時、どちらの子ども気持ちも引き出し、受け止めてからお互いが納得いくような話し合いができるように努めた。
- ・片付けの時、無理に今すぐ片づけることを求めるのではなく、その時している遊びにふれ、納得いくところまで終えてからでいいと伝えるように努めた。
- ・子どもの気持ちに寄り添って様々なことを考えた。
- ・自分自身も楽しんで遊んだ。
- ・毎日笑顔で子ども達を迎え入れた。
- ・保護者と密に連携を取り、子どもの育ちを共有した。
- ・多様な子どもがいる中で、一人ひとりがかけがえない存在と感じ、仲間として認めたり許し合ったり、互いの成長を喜び合う気持ちを持ったクラス運営。
- ・他園を見学し、自分たちの保育を見直すこと。また改善できることをやってみたこと。
- ・子どもの心に寄り添うことを意識し、声掛けをする。
- ・毎日計画を立て、なるべくその通りに動けた。
- ・やったことのない遊びなどに挑戦してみた。
- ・一人ひとりの子どもが互いに受け入れあい認め合う中で、十分に自己発揮できるようなクラスの雰囲気をつくることができた。
- ・保育前後の仕事に見通しをもって準備していくことができた。
- ・換気や机ふきなど衛生面にすることはできたと思う。
- ・園庭の遊具の安全点検はできた。
- ・園行事やクラスの集まりは楽しくできたのではないかなと思う。



- ・一人ひとりの思いを受け止めつつも、その日、その季節に応じた充実活動を行うための環境づくりや力が不足していた。
- ・視野が狭くなってしまうことがあり、全体を把握することができていなかった。
- ・クラスでの楽しい活動のレパートリーが少なかった。
- ・嘔吐の処理ですぐに動けないときがあった。
- ・子どものやりたいことに対しての素材をもっと考えて増やすべきだった。
- ・毎日これからのことで精一杯で、日々の保育を振り返ることがあまりできていなかった。
- ・もっと一つ一つの遊びについて考え、発展させたり広げたりすることができるきっかけや援助をするべきだった。
- ・子どもたちの遊びやすい環境を整えよう意識はしたが、毎日心がけて準備をすることができなかった。
- ・子どもの興味に寄り添った活動が毎日ではできなかった。
- ・保育室の環境は気にして準備ができたが、園庭や森はどこか人任せになってしまっていた。
- ・自主的に園庭やぼうけんのもり等の安全点検を行い、子どもに適した環境を整備する。
- ・保育中にも保育者間で声をかけ合い、チームとして保育し、様々な事をみなで共有していく。
- ・危機管理の安全対策をしっかりと把握する。共有する。
- ・その時の子どもの様子を捉えて、遊びを考えたり教材や環境を整えたりする。
- ・ルールや身の周りの安全管理に関して、子どもたちが主体的に考えたり行動したりするように促す。
- ・周りの様子を把握し、子どもの遊びに危険がないか、どのような遊びをしているのか認識しておく。
- ・目の前の子どものことだけでなく、全体に気を配る。
- ・毎日の生活につながりがあるように自分だけの長期の計画も立てておく。そこから集まりでの活動、自由遊びなど考えられるようにする。心に余裕があるときのほうが立てやすい。
- ・保育者同士で連携をとって保育する。
- ・パソコンスキルを上げて、事務仕事をスムーズにすすめていく。
- ・絵画表現、創作活動の機会を増やそうと思う。
- ・お迎えの保護者が少ないこともあり、保護者同士の情報共有が少なくなりました。参観日など保護者が多く集まるときに同じ遊びをしている子どもの保護者に同時に話しかけたりしようと思う。
- ・視覚的支援をしている回数が少なかったためホワイトボードやペーパーサートを活用しようと思う。
- ・今年度は季節のものを取り入れることが少なかったため来年度は集まりの時に紹介し季節の物で遊んだり、食べたりしようと思う。